

## 一般質問通告書

受領日時 令和8年5月27日 午前 11時 20分 9番 氏名 工藤政彦

質問項目	質問の要旨
1 人口減少対策の観点から、本町の移住・定住施策について	<p>○全国的に人口減少と少子高齢化が進行する中、地方自治体においては、若者や子育て世代の流出抑制、さらには移住・定住の促進が大きな課題となっている。</p> <p>先日の新聞報道では、地方への「移住婚」や、地域との交流を通じた人口減少対策が紹介されていた。その中では、地方移住を希望する方々に対し、自治体が積極的に関わり、住まい、仕事、地域とのつながりを支援することの重要性が指摘されていた。</p> <p>本町においても、人口減少は避けて通れない課題であり、将来にわたり地域を維持していくためには、「住みたい」「住み続けたい」と思われる町づくりが必要であると考えます。</p> <p>また、単に移住者数だけを追うのではなく、若者や女性が安心して働き、子育てできる環境整備、地域とのつながりづくり、さらには関係人口の創出など、総合的な施策が求められている。</p> <p>そこで、以下について町長の所見を伺う。</p> <p>(1) これまで本町が進めてきた移住・定住対策について、どのような成果と課題があると認識しているのか。</p> <p>(2) 若者や女性の町外流出が続く中、本町として、若者や女性が「この町で暮らしたい」と思える環境づくりを、今後どのように進めていく考えか。</p> <p>(3) 移住・定住には安定した雇用環境が不可欠である。企業誘致や起業支援、テレワーク環境整備など、働く場の確保に向けた町の取り組みは。</p> <p>(4) 移住希望者からは、「住む場所が見つからない」との声も聞かれる。空き家バンクの活用状況や、空き家改修支援制度の拡充について、町の考えは。</p> <p>(5) 近年は、地域と継続的に関わる「関係人口」の重要性も注目されている。</p> <p>本町として、朝市や伝統文化、自然環境、地域イベントなど、</p>

	<p>本町ならではの地域資源を活用しながら、交流人口・関係人口を増やし、将来的な移住・定住につなげるため、どのような施策を展開していく考えか。</p>
<p>2 県管理河川・大川堤防復旧工事の遅延と住民不安への対応について</p>	<p>○県管理河川である大川堤防については、過去の豪雨災害により堤防法面の崩落や護岸ブロックの破損が発生し、現在も一部ではブルーシート等による応急処置が続いている。</p> <p>私自身も現地を確認したが、堤防縁部に設置されていた目印杭より大きく下まで土砂が崩落している箇所があり、さらに、この数か月間でも崩落範囲が拡大している状況が見受けられた。</p> <p>加えて、近年は線状降水帯や短時間豪雨など、従来では想定しづらかった異常気象が頻発しており、住民からは「再び磯ノ目地区のような被害が起きるのではないか」と強い不安の声が寄せられている。</p> <p>一方で、県による復旧工事については、災害発生から3年半以上が経過しているにもかかわらず、入札不調が複数回続き、いまだ本格着工に至っていないと聞いている。</p> <p>町民の生命と財産を守る観点から、一刻も早い復旧と堤防全体の安全確保が必要と考える。</p> <p>そこで、以下について町長に伺う。</p> <p>(1) 県管理である大川堤防復旧工事について、これまで町として秋田県・JR・国等に対し、どのような要望・協議・働きかけを行ってきたのか。これまでの交渉経過を具体的に示してもらいたい。</p> <p>(2) 工事入札が複数回不調となっている理由について、町ではどのように説明を受けているのか。また、町として原因をどのように認識しているのか。</p> <p>(3) 現在の堤防の損傷状況について、町として危険性をどのように認識しているのか。特に、堤防崩落による氾濫リスクや住民避難への影響についての見解は。</p> <p>(4) 今後、線状降水帯や集中豪雨等によるさらなる被害拡大が懸念される中、町として県に対し、緊急点検や応急対策の強化、本復旧工事の早期着手をどのように求めていくのか。</p>

	<p>(5) 住民の不安解消のためにも、町として県から工事着手時期や今後の工程等について情報提供を受け、住民へ丁寧に説明していく考えはないか。</p>
<p>3 雀館公園観桜会の再開と、子どもを中心とした地域イベントについて</p>	<p>○人口減少や少子高齢化が進む中、地域に人を呼び込み、世代を超えた交流を生み出す地域イベントの重要性は、ますます高まっている。</p> <p>本町の雀館公園は桜の名所として親しまれてきたが、近年は観桜会が開催されておらず、町民からは「以前のような賑わいを取り戻してほしい」との声も聞かれる。</p> <p>一方、近隣の井川町では、観桜会を大々的に開催し、町内外から多くの来訪者を集めている。本町においても、「きやどっこまつり」では花火の打ち上げが行われ、多くの人で賑わっているが、こうしたイベントは地域経済の活性化だけでなく、地域への愛着や誇りの醸成にもつながるものとする。</p> <p>また、以前本町では、「子どもの祭典」や「子どもの雪まつり」など、子どもたちを主役とした行事が開催され、多くの家族連れで賑わっていた。子どもが集まる場所には保護者や地域住民も集まり、地域全体の活気につながっていたものと思われる。</p> <p>そこで、次の点について町長の考えを伺う。</p> <p>(1) 雀館公園観桜会が開催されなくなった経緯と、その現状について町はどのように認識しているのか。また、今後、観光物産協会や地域団体等と連携しながら、観桜会を再開・再構築する考えはないか。</p> <p>(2) 本町では「きやどっこまつり」など地域を盛り上げるイベントも実施されているが、さらに交流人口の拡大や地域活性化につながるイベントづくりを強化すべきと考える。季節ごとの特色を活かした催しを含め、今後どのように取り組んでいく考えか。</p> <p>(3) 以前実施されていた「子どもの祭典」や「子どもの雪まつり」など、子どもを中心としたイベントについて、町はどのような意義があったと認識しているのか。また、人口減少対策や子育て支援、地域コミュニティ活性化の観点から、今後、子どもや子育て世代を中心としたイベントを復活・充実させる考えはないか。</p>

<p>4 町道等の区画線（センターライン・側線）の整備について</p>	<p>○冬期間の除雪や経年劣化などにより、町内各所において道路のセンターラインや側線、いわゆる白線が薄くなったり、見えづらくなっている箇所が見受けられる。</p> <p>道路の区画線は、自動車の安全走行はもちろんのこと、歩行者や自転車利用者、特に通学する子どもたちの安全確保において極めて重要な役割を果たしている。</p> <p>しかしながら、白線が消えている道路では、車両の通行位置が分かりづらくなり、交通事故の危険性が高まることも懸念される。</p> <p>また、新年度を迎え、子どもたちの登下校が始まる時期においては、通学路の安全対策を早急に講じる必要があると考える。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 町内の町道におけるセンターライン及び側線（白線）の整備状況について伺う。</p> <p>現在、必要な区画線は適切に整備されているのか。また、未整備あるいは補修が必要な箇所はどの程度把握しているのか。</p> <p>(2) 未整備箇所や消えかかっている箇所について、今後いつ頃までに整備・補修を実施する予定なのか。</p> <p>(3) 通学路の安全確保の観点から、子どもたちの登校が本格化する前までに、優先的に区画線整備を完了させるべきと考えるが、町の見解は。</p> <p>(4) 県道においても、白線が薄くなっている箇所が見受けられる。</p> <p>町として、県管理道路の区画線整備について、これまで県へどのような要望や働きかけを行ってきたのか。また、今後どのように連携していく考えなのか。</p>
-------------------------------------	--